

## 優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業 事後評価結果

研究開発課題名	BIZENエコシステム構築による産業振興拠点形成
研究開発代表機関	国立大学法人岡山大学
研究開発代表者	櫻井 淳

### 【計画実施概要】

BIZEN(Business Innovation Zone for Entrepreneurship)において、ベースとなる人材育成・リスクリング事業は継続しつつ、専門人材による医療機器・スタートアップの伴走支援や開発を加速させる機会の提供を行った。支援基盤・体制強化として、内部専門人材の充実と適切な配置、SOP整備とともに、SaMD 開発基盤の増強を中心に整備を行い、臨床情報をより効率的に活用できる体制構築を行った。また BIZEN プログラムを経験した外部企業や、アカデミアの専門人材を支援スキームに組み込んだ。医療機器開発で重要とされるコンセプト生成から、事業化までを見据えた、一気通貫の支援を行い、優先度が高いシーズに関しては、「優先支援プログラム」として、海外展開支援を含めた重厚な支援を実施した。とくにスタートアップ支援においては、岡山大学スタートアップベンチャー創出本部、PSI(Peace & Science Innovation Ecosystem)に加えて、企業・VCと連携した支援体制を構築することで、外部資金獲得などの成果に繋がった。また海外アカデミア・海外支援機関との連携構築を進め、グローバル支援の土台を形成した。

### 【評価コメント】

地域の産業振興拠点として大学内、地域機関、金融機関・VC、各業界の支援機関・企業と連携し、開発各層における適切な伴走体制を整え、プロトタイプサポートの実施による製品実現化に向けての支援やリンクスタッフによる伴走支援など、有用な支援が着実に進められていると評価された。

以上